

# UA神奈川学習センター なつだより

2003/7/1 発行

第6巻第3号(通巻23号)

目次:

特集

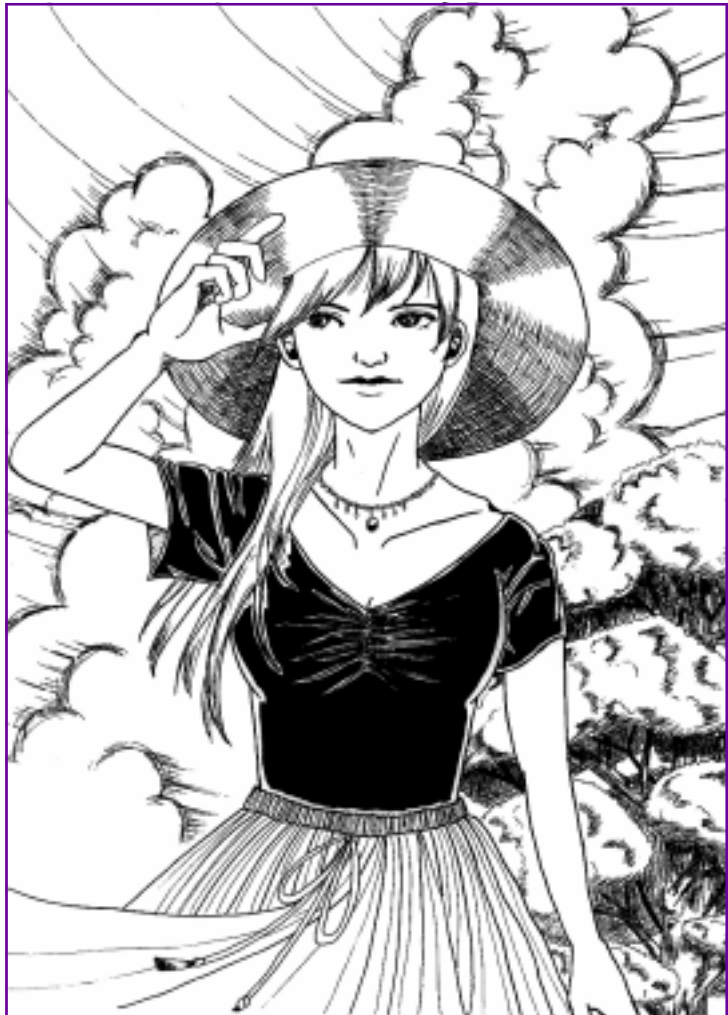
「フェスタ・ヨコハマ」 2

俳句・川柳大会 4

詩 5

学生団体・サークルのお知らせ 6

放送大学神奈川学習センター  
〒 232-0061 横浜市南区大岡 2-31-1  
TEL:045-710-1910  
FAX:045-710-1914  
<http://u-air.net/kanagawa/>  
E-Mail:social@u-air.ac.jp



「夏雲」イラスト:坂戸五葉

## 特集： フェスタ・ ヨコハマ

## 私にとって記念すべき日

頼成 敦子

会員になりました

あの日が楽しく記念すべき日になったのは、フェスタ・ヨコハマ実行委員会の方々のおかげです。厚く御礼申し上げます。あの日がきっかけで、私は「うえるかむ Kanagawa」の会員になりました。

それに私は長い間、「人間学研究会」の会員でもあります。あの日には会員の方々と一段と親しくなったような気持ちがいたします。そこで、「うえるかむ Kanagawa」と「人間学研究会」のお話をいたします。その後に、ささやかな考えを述べたいと思います。

とってもいい感じ！

「UA神奈川学習センターなつだより」で星さんのサークル紹介の記事を読み、いいなあと思ったのがそもそもの始まりでした。講演が終わり外へ出るとすぐに「うえるかむ」の方々がアイスコーヒーをにこやかに勧めてくれました。コップの中の透明な氷の浮き沈み・味に「何かエキゾチックでハイカラな味」を感じました。そして未知なる「うえるかむ」へと心が向かったのです。

9月になって初めて見学に行き、英語の難しさに驚き、とてもだめだからやめようとしたら、星さんが「大丈夫、今日は特別なのよ」と言いました。私はすぐその気になって次回にも来てしまい、会員になりました。そして今年の5月に「私はうえるかむにすっかりはまってしまいました、もう辞める気がありません」と、電話のせいもあって、キザな言葉がすらすらと出てきました。「うれしい

わ！」と星さんの声が聞こえました。

それでも英語の難しさには変わりありません。いつだったか「背のびすることもねえ」と、ふんわりと努力を促してくれました。少しずつ英語が向上するといいと思っております。

一段と好きになった人間研！

いろいろなサークルの有志の方たちが、今年も焼きそばなどを作って、テントまで運んでくださったり、飲み物その他も整えてくださったりして、私たちは美味しくいただきました。そういう中で交流や親睦を楽しみました。催し物のプログラムも進みました。

俳句の発表になって驚きました。私の俳句が「人」に入っていました。賞品は3通りに使えるボールペンでした。大切に今も使っております。

ビンゴはやっと全部合ったときには、賞品はありませんでした。「今年は参加者が多かったから」



とすることでした。人間研の鈴木さんが「俳句の方が実力だから価値があるわよ」と言ってくれました。私はすぐその気になってうれしくなりました。

学園祭終了後はかたづけに入りました。私も一緒に働きました。と、急にジュージューと炭を消す音がしました。私は「消してからどうするの？」と聞きました。人間研のもう1人の鈴木さんが「捨てるのよ」と言いました。「もったいない、もらってもいい？」と私。「どうぞどうぞ、もらってくれる人がいてうれしいわ」と言って、2、3人の人と少し壊れかけた炭の空き箱に炭をギュューギュューに詰めてひもを頑丈に掛けてくれました。親切な方々でした。

かたづけ終了後は、私は炭を提げて人間研の人たちと一緒に飲み会に行きました。炭を足もとに置いて飲むこと、食べること、話すことに興じて後に炭を持ったらずっしりと重く感じました。それでもJR川崎駅まで提げていきました。駅を出て重さと距離とを考慮に入れて担いでみました。「これは軽い！」という実感を得てその格好で家まで約15分歩いて帰りました。夫も炭が大好きなので喜んでくれました。かくて1日は終了いたしました。

ささやかな考察

私にとって学園祭も、「うえるかむ Kanagawa」も、「人間学研究会」もどうして楽しいのでしょうか？きっと楽しくなる元がそこに内蔵されているからにちがいないと考えております。いつの日かその内蔵されている元が明らかにされるとうれしい！と、考えております。これで私のささやかな考察を終わります。

## 晩夏の莫迦騒ぎ 幽かな郷愁を込めて 草創のころのフェスタ・ヨコハマ

特集：  
フェスタ・  
ヨコハマ

片野 克己

過去の出来事。その一言で片付けてしまうほど年を取っていない。もう忘れてしまったこと。その一言で済んでしまうほどに経験も積んではいない。ただ、そのころの気持ちになる間に（あくまでも慎重に）、気恥ずかしい心持ちになるのも事実である。あのころは若かった、などと平気で言ったりする自分に、驚いて苦笑したりする。

フェスタ・ヨコハマの季節が今年もまたやってくる。8月の末に学習センターで行われる学園祭である。フェスタが行われるようになって今年で16年。17回目を迎えるわけだが、僕はその草創のころに深い関わりを持っていた。16年前の本当に若かったころの話である。

それは思いがけない一言から始まった。僕はそのころからテニス・クラブに入り浸るようになっていたのだが（今はクラブの主のようになってしまった。これほど長く所属するとは思ってもなかったのだが）、ある日クラブの人たちと構内でバーベキューをしていた。そこに、センターの事務の方 上野さんとおっしゃる がみえて、しばらく談笑するうちに、確かこのように言ったのである。

「学園祭みたいなものでもやってみたら」

話は一つのクラブだけでは進まない。当時すでにいくつかの学生団体があった。そのすべてに声をかけて参加を打診し、それならばやってみようということになった。実行委員会を組織し、何回も話しをし（これは今と変わることがない）、実施にこぎつけたのは9月のことであったと思うが、定

かではない。16年の時の経過が記憶を曖昧にさせ、思い出も薄れさせてしまったかのようだ。長すぎる停滞。そうやってしまうと身も蓋もないが、そう言いきれるほどに時間が経ってしまった。

当時はメインのバーベキューが始まるまでテニス大会と囲碁・将棋大会が行われた。僕らはテニス大会の主催で国大中学のコートを借り運営にあたり、かつ試合にも出場した。小さな大会であったが、興奮も手伝ってか非常に楽しかった。僕はまだテニスを始めたばかりで、上手ではなかったのであるが。

バーベキューは大きな鉄板一枚と、一斗缶をコンロ状に作ったものに網をかけたものを数個用意し、肉や野菜などをその上で焼いて食べた。もちろんビールやジュース、ウーロン茶、他の酒類もあった（と思う）。大きな鉄板は畳一畳分ほどの大きさで、そこで焼かれた肉や野

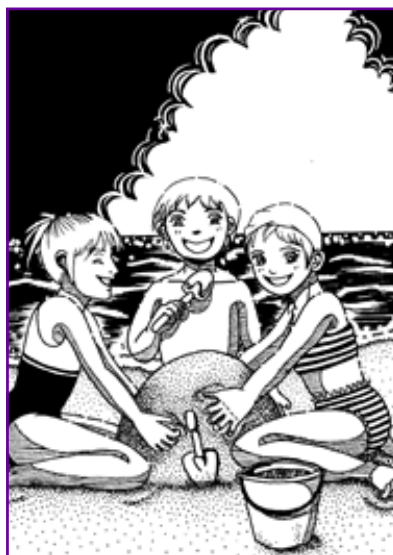
菜、“シメ”の焼きソバがバーベキューらしさを十二分に発揮し、雰囲気盛り上げていた。

二回目か三回目のことだ。ビールが余ってしまったのだ。しかし、お腹いっぱい飲んで食べたので、皆誰も飲む人がいない。残ってしまったのは処分するだけだったので（缶ビールではなく、業務用のタンクを安く買っていたのだ）、皆半分ヤケになっていたのか、酔っていたのか知らぬが、ビールかけが始まった。

おもしろ半分も手伝って、興に乗るに任せて何回もビールを浴びた。ビールが目にも染みだした。その味は汗が溶けだしたのか塩辛いように感じられた。

盛り上がりは潮が引いたように、ビールがなくなると同時に去っていた。だが、体の火照りと興奮は続き、誰が言い出すでもなく二次会となった（これもいまと変わりない?!）。

夏が終わると思い出すのだ。あのときの莫迦騒ぎを。そんなこともあった、といつまで思えるだろうか。フェスタ・ヨコハマがまだ若かったころの話を今になって語ることにどのような意味があるかわからない。ただ確かなことは、続けていく人たちの意志と情熱が、過去を振り返ることの怠慢と悲哀を忘れさせてくれる、ということなのだろう。忘却は過去の出来事だけに訪れるわけではないのだから。





特集:  
フェスタ・  
ヨコハマ

フェスタ・ヨコハマ俳句・川柳大会

昨年、第十六回フェスタ・ヨコハマ俳句・川柳大会が行われました。応募作品集が作成されており、その一部を今回の特集にあわせて、掲載させていただきますました。応募者総数は、四十八名でした。

俳句の部

天 学園祭焼きそば食べてビール飲む 猪俣寿久  
 地 己が影塗り込む塗装天炎ゆる 松本道男  
 人 なき妻の笑みにも似たり夾竹桃 芝崎芳和  
 蝉の声覚えた単語掻き消され 鈴木美代子  
 糠床の加子の糸紺や子ら来る日 齋藤多美江  
 鎌のあとおしろい花は刈りとらず 頼成敦子

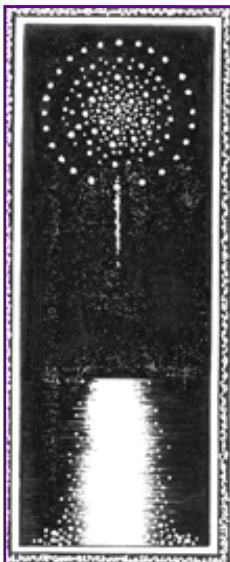
若い日の思い出重なるフェスタヨコハマ 一〇八番  
 温暖化気なる影響天の川 一一三番  
 科目聞きあいまに届く盆の音 一一九番  
 酷暑耐え美りの秋へ進進す 一二〇番  
 吾が道の十五教科に夏きたる 一二一番  
 髪洗ふころ憂き日も常の日も 一二六番  
 蝉の音も消えゆく頃には一周忌 一六八番  
 鮎釣りてあの人の家無村の可 一七〇番  
 夜中にも蝉鳴くと知る道後の湯 一八四番

昨夜逝きし友の貌消えず夏試験 一八六番  
 放大生暑さはねのけ皆集う 一九四番  
 夏祭り吾が青春の日記帳 二〇三番  
 ホットサマ遊びすぎたら仏様 一六七番  
 放大のフェスタ楽しむ残暑かな 二一四番  
 フェスタを横目に通る里祭 二二五番  
 夏野原そびえ立つ木々やすむ鳥 二二五番  
 緑陰に向学の輩たむろして 二二五番  
 滝しぶきマイナスイオンにちよい 二二五番  
 ゆく夏を惜しみて響く蝉しぐれ 二四一  
 夏枯れやベイスターズ又点足らず 二四六番  
 蝉しぐれ息も絶えたか夏いざれ 二四七番  
 吾が息子コソビータを見て笑つる 二七三番  
 悔恨も慕情もありて夏眩し 二七六番  
 新涼やノートに走るペンのおと 二七九番  
 夏帽子覗く火口湖瑠璃深し 三〇三番

川柳の部

天 素麺もそろそろあきていらいしゃ 桑島久乃  
 地 温暖化日本沈没かも知れず 松本道男  
 録画してほと安心気がゆるみ 近藤清美  
 試験直前顔青くなる 近藤清美  
 人 週五日ジジババの財布底を覗き 芝崎芳和  
 こども又熟年ハイカ学園祭 足立三義  
 脱げるなら脱いでみたいな皮下脂肪 河野仁

今日もまたうつろうつろの夢の中  
 放送授業が終つて目覚める  
 寝過ごして上司にいわけメタル級  
 結果待たず再試験準備こんどそ  
 認定の試験の日だけ神たのむ  
 学問は上から下へ流れゆく  
 受験表持ち込み教材ますチヤク  
 リストラされ牛肉喰つて遺書を書く  
 放大生後ろから見ると皆ワイト風  
 夏衣冷えたビールと枝豆で  
 試験も終わり一息つけり  
 朝起きて寝むけまなこの美少女  
 健康のテレビ番組覚えきれぬ  
 鼻高き大学院生ビール飲む  
 独り居の朝寝を起す蝉しぐれ  
 ワン切りも相手にせぬが定年後  
 処暑の日にはフェスタヨコハマ玉ねぎや  
 キャベツソフコウきつきつき  
 終戦日靖国の神は目を覚まし  
 人生は友達がないと駄目なんだ  
 学園祭玉ねぎ切る日に涙  
 思い出す学生時代



第17回神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマのご案内

- ・目的：教職員と学生相互の親睦をはかり、交流の輪を広げる。
- ・日時：2003年8月24日(日)午前10時30分～15時00分  
(囲碁将棋大会のみ23日)
- ・場所：神奈川学習センター講義室および講義室前空き地

記念講演：10時30分～12時30分(質疑応答を含む)第8講義室

- ・講師：笠原 潔 先生
- ・演題：『幕末・横浜での西洋音楽』

・1854年のペリー来航、1859年の横浜開港、さらには幕末にかけて、横浜で演奏された西洋音楽を、具体的なデータに基づいて御紹介したいと思います。

交流会：12時40分から 講義室前の空き地にて、立食形式の交流会をします。(俳句・川柳大会、ビンゴ大会を、交流会の間に開きます。)

囲碁・将棋大会：8月23日(土)13時00分～17時30分

- ・参加券：行事に参加する場合は参加券が必要です。単位認定試験中に、神奈川学習センターの1階ロビーで頒布します。試験期間中学習センターに来ない方は、葉書で予約を受付ます。「放送大学神奈川学習センター内 フェスタ・ヨコハマ実行委員会」宛に、御送付下さい。当日売りは、予約者に限らせていただきます。1人1枚¥1,000円。同伴の小児は無料。
- ・行事内容の詳細は変更される場合があります。案内のちらし、プログラム等にて、ご確認ください。
- ・お問い合わせは、TEL：046-861-2467 (はこぎき)まで。
- ・多くの仲間のご参加をお待ちいたしております。

2003年6月20日  
フェスタ・ヨコハマ実行委員会

- ・参加団体：神奈川放友会、人間学研究会、うえるかむ神奈川、放送大学神奈川合唱団、放たかながわレク・サークル、中国語学習会、放送大学ダンスサークル、放送大学神奈川学習センター同窓会



鎌倉街道

佐々木健充

目の前に流れているのは  
車廂の川  
ほくを笑いながら  
通り過ぎていく

今は夜 家を出て  
珈琲を飲みながら  
ベンチで一服  
昼間見た紫陽花を思い出  
関東は梅雨に入るそう

もう少しここにいたい  
神様雨を降らすのをもちよっと  
待って下さい

バスの行先案内に  
故郷の地名が書いてある  
なつかしいなあ 平戸は  
こんな気にさせてくれたのも  
落ちてきた雨のおかげなのかもしれない  
街道をぬらす水滴がほくを誘う  
そして 父は歳をとった

## 学生団体・サークルの お知らせ

### 人間学研究会

#### 【例会】

7月13日(日)「上海における工場立ち上げの体験談」

8月24日(日) 神奈川学習センター祭 フェスタ・ヨコハマ

9月27～28日 宿泊研修  
(赤城青年の家にて)

- ・1日目 前橋市内見学
- ・2日目 赤城山登山

例会は、午後1時00分から神奈川学習センターの講義室にて行います。卒業研究の発表、ワークショップ、講演会などの内容です。入会前に、見学ができます。(宿泊研修は、7月20日募集締め切りです。会員のみ参加できます。)

10月以降も、毎月例会があります。12月は、公開講演会を計画しています。

例会についてのお問い合わせは、  
Tel: 045-302-1121 松本まで。

#### 【歩きましょう】

7月4日～6日 「尾瀬沼と帝釈山ハイキング」

8月7日～10日 「朝日岳と吾妻連峰の登山」

10月 戸隠・高妻山登山(百名山)

11月1～3日 日本スリーデーマーチ(埼玉県東松山市)。

11月22～23日 五島列島ウォーキングと長崎街道を歩く(鳥栖～長崎)

12月23日 「汽笛一声33kmウォーキング」(新橋～桜木町)

2004年1月 鎌倉歴史ウォーキング

2月～3月 オーストラリア出張中の友を尋ねて

上記以外にも簡単な日帰りのハイキ

ングや歴史散歩を計画しています。「歩きましょう」についてのお問い合わせは、  
Tel: 046-841-7937 大出 まで。

### 神奈川放友会

神奈川放友会は神奈川学習センター所属の学生団体で、会員相互の親睦を図り、学習を援助する下記のサークル活動を行っています。

- \* 行楽と研修を兼ねた旅行
  - ・一泊研修旅行(大学本部・Museum等)
  - ・旅にいこう会  
(行楽・名所旧跡等)

- \* 学習履歴表に依る情報交換
- \* 会員相互の研究発表
- \* HP運営とパソコン初心者講習
- \* ネット上で会話を楽しむ清風亭  
ネットの会

放送大学での学生生活をより一層充実させ交流の輪を拡げたい方の入会をお待ちしています。

行事予定(7月～12月)

7月13日(日) 7月月例会(情報交換・研究発表)

8月24日(日) フェスタ・ヨコハマ

9月14日(日) 9月旅にいこう会

10月上旬 入学者の集い 入会勧誘/歓迎会

10月25～26日 一泊研修旅行  
(大学本部 未定)

11月16日(日) 11月月例会  
(情報交換・研究発表)

12月7日(日) 忘年会、情報交換

この他、清風亭ネットの会が随時イベントを企画しています。

照会/入会申込先

〒251-0025

藤沢市鵜沼石上1-13-13-506

芝崎 芳和

Tel/Fax 0466-25-0090

E-Mail shibasun@gray.plala.or.jp

神奈川放友会のホームページ

<http://www.h5.dion.ne.jp/~jinhoyu>

### 放友会・「江ノ島散策」紀行文

6月22日(日)、梅雨の合間の薄曇、予報では最高気温27度ということであるが、朝からかなり蒸し暑い。今日は、放友会・旅に行こう会の「江ノ島散策」の日だ。片瀬江ノ島駅集合組11名は、午前10時30分に全員揃う。予定どおりである。時間に若干ルーズなところがある私は、皆が極めて真面目なテイコクシュギヤ(定刻主義者)である事に少々驚く。早速竜宮城のような風変わりな駅舎を背景にして記念写真を撮る。程なく大船駅集合組14名と合流して江ノ島へ向かう。途中江ノ島大橋でまた記念写真を撮る。

梅雨期なのに珍しく薄日も差す日曜日だからであろう。家族連れを中心にかなりの人出がある。土産物屋が並んでいる道が終わると神社への急な石段となる。ここで徒歩組とエスカー組とに分かれる。健脚を自認する私は、軟弱なエスカー組を内心嘲笑して徒歩組に加わる(しかし、後で後悔することになる)両者辺津宮で合流して一緒にお参りする。やはりエスカー組はすこぶる元気だが、徒歩組の中には私のように早くも休憩したがる者も出始める。

江ノ島は、一般には単に風光明媚な観光地として有名であるが、実は島全体が一つの神社になっている。この辺津宮からさらに奥に中津宮、奥津宮がある。内宮と外宮、本社と奥社のように2社から成る神社はよくあるが、主社が3社もある神社は珍しい。お参りを済ませると、さらに坂道を登り中津宮へ向かう。ここで再び徒歩組とエスカー組とに分かれる。徒歩組の私は、先程嘲笑した事も忘れてエスカー組を羨望の目で見つめている。中津宮でも丁寧なお参りをして、次に島の中程に在るサムエル・コッキング苑を見学する。

ここは、以前は上り下りの際にかなり恐怖感を味わえる展望塔とらぶれた植物園が在るに過ぎなかった(名称も「江ノ島植物園」だった。)が、最近整備され洒落た名前の庭園に生まれ変わった。スリル満点だっ



た展望塔も建て替えられ、安全で何の変哲も無い塔になってしまった。展望塔に登る。さすがの私もエレベーターを利用する。360度の眺望は以前と変わらない。初夏特有の霞で視界が悪かったが、もし良ければ、富士山・大島・房総半島まで見えるはずである。苑内で昼食にする。片瀬海岸を一望できる見晴らしの良い場所で弁当をひろげる。何名かは売店でよく冷えた生ビールを買い求め喉を潤す。吉田会長が率先垂範されたが、これは、会長としての職責を良く果たすものであり、さすがである。腹ごしらえが出来たところで、さらに島の奥に進み奥津宮に到着する。この宮は「八方睨みの亀」で有名である。拝殿前の天板に描かれた亀であるが、どの位置から見上げても自分が睨まれているように見える。

顧みると今日は、江ノ島神社の主社3社に加えて、弁財天、八坂神社、それに竜のミニチュアが光っているだけの何やら訳の分からない所と、合計6箇所もお参りしてお賽銭を差し上げたことになる。当然相当な御利益があつてしかるべきである。次に恋人の丘に廻る。急に視界が開け、太平洋が一望できる。ここには「龍恋の鐘」というのがあり、若い恋人同士と一緒に突くと必ず結ばれるらしい。放友会員で鐘を突く者は、あまりいなかった。これで江ノ島の散策を終わり神社入り口まで戻る。帰路は裏道を利用する。これだと、階段が無くしかも短時間で入り口までたどり着く事が出来る。私を筆頭に暑さでバテ気味の者もいるので、片瀬江ノ島駅近くの江ノ島を一望できるレストランで一服する。大半の者は生ビールを注文する。元気が回復したところで、次の目的地・龍口寺(りゅうこうじ)へ行く。ここは、鎌倉時代の刑場の跡地で、日蓮聖人の龍ノ口の法難があった場所で、今日日蓮宗の本山の一つに数えられている。次に今日最後の目的地・常立寺へ行く。同寺は、龍口寺程有名ではないが庭が良く整備された閑静な寺院である。これで予定していた所は全て廻り本日の旅に行こう会は散会となる。

本日は神社と寺院の両者を巡り、しかも神社は6ヶ所も廻った、敢えて繰り返すが、その全てでお賽銭を差し上げた)。誠に信仰心厚き一日であった。

参加者一同、充実した一日を過ごせた事に大満足し、さらにこの様な旅を企画・運営してくれた幹事の皆さんに感謝しつつ、家路についた。

以上  
(佐々木 正隆 記)

## うえるかむKanagawa

“うえるかむKanagawa”は神奈川県学習センターの学生及び卒業生による英会話サークルです。

活動は月2回のネイティブの先生を迎えての学習会と自主学習です。午前中は初級・中級に分かれて生きた英語を学んでいます。午後は自主学習で初級はラジオ基礎英語3やGATEWAYSをテキストに学習、中級は興味あるニュースやトピックについてフリートークなど行っています。

海外ビジネスで実践英会話を身につけた方々もメンバーにおり楽しい話題が豊富です。

午前・午後のどちらか一方の参加でも構いませんので一度覗いてみてください。

### 例会

毎月第2、第4水曜日  
AM10:00~11:00 中級  
AM11:00~12:00 初級  
PM13:00~15:00 自主学習

“うえるかむKanagawa”の母体である“うえるかむ”の行事は休日しか参加の出来ない人たちや他の学習センターの人たちとの親睦を深める活動をしています。

春は花見、夏は納涼、楽しいイベント目白押しです。もちろん勉強会も忘れません。

英語や星などの天体観測もあります。みなさんも一緒に参加しませんか？

サークル参加ご希望の方は下記へお問い合わせ下さい。

野末：044-287-0270  
星：045-844-9647

## 放大的ながわ レク・サークル

文明開化ウォークラリーに参加しました。レク・サークルでは校外活動の一環として、外部で主催されるスポーツにも随時参加しております。

今回の第20回全国一斉ウォークラリーは5月18日(日)に開催され、3グループ11人で横浜会場に参加しました(体育実技の単位修得を兼ねた方もおられました)。私たちが参加したコースは「山手ロマンチック街道コース」(7km)でなにやらドイツのツアールートを思い浮かべさせられますが、新緑の横浜市中区山手一帯にルートが設定され、事務局から渡されたコース図を片手に、チェックポイント毎に指定された課題を解きながらゴールを目指し、3グループとも無事ゴールインしました。

ゴールインまでの所要時間はラリー終了後事務局から発表されましたが、今年は202分が設定時間で、早くても遅くても減点されます。私たちはサークルの代表者を交えて時間を相談して大会に臨んだのですが、今回指定ルートの山手に散在する各種の名所?に見とれて、戦略的時間設定?を彼方に追いやり、時間オーバー減点となって表彰式ではお声がかかりませんでした。こうなるとは最早期待は事務局が用意した賞品の抽選会しかないと思いをすまして当選番号の発表を待つことにしました。お陰で2名の方が横浜港クルーズ賞として、豪華客船ロイヤルウイング乗船ペアチケットをgetしてグループを解散しました。

因みにスタートは山手駅近くの中学校で、ゴールは大槓橋ホールでした。大槓橋は昨年、床などが木製でリニューアルされ、世界に誇る(事務局発表)施設とのことですので、「桜木町駅~汽道~赤レンガ倉庫~大槓橋そして最後は中華街で食事してお終い」というコースなどを体験してみたいかがでしょうか。

「みなとみらい21」の宣伝になっ

てしまいましたが、最後はサークル活動について紹介させていただきます。

1.通常活動種目：

・練習日：

毎月第1～第4水曜日

・A M10時から12時

ターゲット・バードゴルフ

(大岡原っぱ)、

・P M1時から3時

レクダンス・フォークダンス

(センター内)

2.校外活動種目(随時)

ターゲット・バードゴルフ、

シティウォーク、

ウォークラリー他

3.連絡先(入会等の)

代表者：中嶋 博子

Tel / Fax 0467-83-8203

(文：佐々木恭夫)

## 放送大学同窓会

今年も通常総会を無事に終了でき、役員一同肩の荷を降ろしていることでしょうか。総会後の恒例の講演会は、今年は臨床心理学の矢吹先生(東洋英和女学院大学 人間化科学科教授)によるものでしたので、かなりおもしろいお話が聴けたのではないのでしょうか。心理学を勉強されている方が多い大学のことですから、今年の講演会は盛況であったと思います。その後の懇親会にも多数参加いただきました。無事に「総会の日」を終えられたことに、感謝の念を禁じ得ません。お礼申し上げます。

平成15年度がスタートして約2ヵ月。今年は「還元」という大きなテーマを掲げ、それに基づいた行事を企画して参ります。この言葉に「ピン」と来た方、訝しく思った方、不思議に思った方を初めとする、全

ての方の参加をお待ちしております。

今後の予定

8月23日(土)、24日(日)にフェスタ・ヨコハマへ今年も共催します。多数の参加をお待ちしております(23日は囲碁・将棋大会のみ)。

9月にハイキングか見学会を、10月にそれに基づく勉強会、11月には同窓生による体験発表会、来年2月には好評の映画鑑賞会を予定しております。なお、上記詳細は会報『波濤』26号(9月発行予定)をご覧ください。

今後の行事への多数の参加をお待ちしております。

(片野 記)

## U A神奈川学習センター なつだより編集部

発行者：神代和俊

編集者：五十嵐、遠藤、星、加藤、松本、皆川、吉田、村山、石川、坂井

・神奈川学習センター恒例のフェスタ・ヨコハマを特集しました。イラストは、坂戸五葉さんをお願いいたしました。すがすがしい夏を強いタッチで描いてくださいました

・ホームページで、神奈川学習センターの教務予定表を載せる試みを行っております。ご意見をお寄せ下さい。

ホームページもご覧ください。  
<http://u-air.net/kanagawa/>

次回、神奈川学習センター「あき」だよりの特集テーマは、「ボランティア・NPO活動」についてです。参加しての感想など学生の方々の原稿を募集いたします。1200字程度にまとめて9月中旬までに、E-Mailで、あるいはセンター窓口までお寄せください。また、「書評」「読后感想文」も400字程度で受け付けます。数多くのご応募をお待ちしています。冬号と春号について「卒業」「修士論文」などの原稿も受け付けております。

